

小菅 優「ソナタ・プロジェクト」Vol.3

神秘・魅惑

YU KOSUGE "SONATA PROJECT" VOL.3

スクリャーピン：ピアノ・ソナタ 第9番 作品68〈黒ミサ〉

藤倉大：ピアノ・ソナタ（委嘱日本初演）

ベルク：ピアノ・ソナタ 作品1

リスト：ピアノ・ソナタ ロ短調

2025.3/20（木・祝）14:30開場 | 15:00開演

水戸芸術館コンサートホールATM

料金〔全席指定〕一般4,000円／U-25（25歳以下）1,500円

※U-25チケットの取扱いは水戸芸術館のみ

チケット発売：2024.12/21（土）

先行予約 | 財団運営維持会員：12/17（火）

※電話・WEB | 水戸芸術館メンバーズ：12/18（水）
予約のみ

※会員先行予約がありますので、一般発売日の時点で
水戸芸術館取り扱い分が終了している場合があります。

主催：公益財団法人 水戸市芸術振興財団



小菅優が満を持して挑む「ソナタ・プロジェクト」 Vol.3は聴く者を“闇の世界”に連れて行く「神秘・魅惑」

大絶賛を博したベートーヴェンの「ピアノ・ソナタ全曲シリーズ」の後、水・火・風・土の4元素に基づいた「Four Elementsシリーズ」を自ら企画し、鋭く、深く音楽を掘り下げてきた小菅優が、2023年からピアノ・ソナタをテーマとする「ソナタ・プロジェクト」をスタートさせました。

バロック時代から現代まで、様々な作品に彩られたソナタの歴史を俯瞰し、小菅優ならではの視点で各回のプログラムを構成していきます。

Vol.3のテーマは「神秘・魅惑」。選ばれた作品は、いずれもある種、異様な音のかたちをした単一楽章のソナタで、スクリャービンの〈黒ミサ〉、藤倉大の委嘱新作、ベルクの初期の傑作、そしてリストの長大な短調ソナタ。小菅優の念願が叶う、危険な香り漂うプログラムです。「闇の世界」で私たちは何を見、何を聴くのでしょうか。



小菅 優
ピアノ

Yu Kosuge, Piano

9歳より演奏活動を開始し、2005年カーネギーホールで、翌2006年にはザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビュー。ドミトリエフ、デュトワ、小澤征爾、ノリントン、オラモ、ノットらの指揮でベルリン響、フランクフルト放送響、シュトゥットガルト放送響、BBC響、NDRエルプフィルなどと共演。2010年ザルツブルク音楽祭で、ポゴレリッチの代役としてヘレヴェツェ指揮カメラータ・ザルツブルクと共演。2010年より2015年3月まで、東京、大阪でベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会（全8回）を行った。録音は、ソニーから発売している「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全集」、小澤征爾指揮水戸室内管弦楽団との「メンデルスゾーン：ピアノ協奏曲第1番他」をはじめ数多い。第13回新日鉄音楽賞、第17回出光音楽賞などを受賞。2014年に第64回芸術選奨音楽部門文部科学大臣新人賞、17年第48回サントリー音楽賞受賞。2023年よりピアノ・ソナタに焦点をあてた新プロジェクトを始動。

皆様に秘密を打ち明けよう。以前から一度ちょっと危ないリサイタルを試みたかった。全部が単一楽章というサブテーマもあるが、いきなりお客様に恐怖を感じさせるリサイタルだ。それこそが今回の「神秘・魅惑」。

スクリャービンのソナタ第9番〈黒ミサ〉で思い浮かぶのは、それまでの作品の色彩とエクスタシーとは異なる悪夢、倒錯、暗黒。そして藤倉大のソナタが続く。これまでに演奏してきた大さんの作品から私がまず思いつくのは官能と絶頂だが、大さんならではの美しいハーモニーが続く中に、この作品には何だかダークなところも垣間見えると思う。

そしてベルクの悲観的でエクスタシーに溢れる感情的な短調のソナタに続き、同じ調性のリストのソナタ。この大曲はゲーテの「ファウスト」のストーリーとよく結びつけられるが、やはり悪魔や誘惑の炎が迸る。でも“悪”には“善”も伴い、暗黒の世界にも希望があるのではないだろうか？

小菅 優

[チケットの取り扱い・お問い合わせ]

●水戸芸術館 | 営業時間 9:30～18:00/月曜休館

・エントランスホール内チケットカウンター

・チケット予約センター：TEL.029-231-8000

・ウェブ予約：https://www.arttowermito.or.jp/ticket/

●e+(イープラス)：https://eplus.jp (PC・携帯)

●かわまた楽器店：TEL.029-226-0351

●ヤマハミュージックジャパン水戸店

TEL.029-244-6661 (店頭販売のみ)

ウェブ予約



e+(イープラス)



◎公演の内容や出演者は、変更になる場合があります。◎車椅子のお客様、盲導犬、介助犬同伴のお客様は、お座席へのスムーズなご案内のため、予約時にお知らせください。◎未就学児のご入場はご遠慮ください。◎公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換等はお受けできませんのでご了承ください。

●U-25チケットのご案内 (枚数限定)

◎25歳以下の方が対象のお得なチケットです(未就学児入場不可)。◎ご購入いただきましたご本人様のみご利用いただけます。◎当日ご入場の際には、年齢を証明するものが必要となります。

[交通のご案内]

JR常磐線水戸駅北口より、バスターミナル4～7番のりばから泉町1丁目下車、徒歩2分。

水戸芸術館

〒310-0063 水戸市五軒町1-6-8 TEL.029-227-8111 https://www.arttowermito.or.jp/



小菅優のために書かれた藤倉大「インパルス」の超絶技巧
ラヴェル最晩年のかがやきを刻んだ「ト長調の協奏曲」の洒脱

小菅 優 | 藤倉大：ピアノ協奏曲第3番「インパルス」/WHIM
ラヴェル：ピアノ協奏曲ト長調

[演奏] 小菅 優(ピアノ)、ライアン・ウィグルスワース指揮 BBC交響楽団
[録音] 2021年11月 ロンドン(セッション録音)

世界で活躍するピアニスト、小菅優による協奏曲アルバムは、2009年の小澤征爾指揮する水戸室内管弦楽団とのメンデルスゾーン・アルバム以来およそ10年ぶりとなります。藤倉大のピアノ協奏曲第3番「インパルス」は、モンテカルロ・フィル、読売日本交響楽団とスイス・ロマン管弦楽団の共同委嘱作品で、小菅優に献呈されました。3つのオーケストラの初演すべてにおいて小菅優はソロを務め、大きな話題となったものです。同じ藤倉大の「WHIM」は、「インパルス」の日本初演時のリハーサル中に、藤倉大と指揮者の山田和樹に「カデンツァを聞いてほしい」と言って小菅優が弾いてみせたことから藤倉大が思いつき、カデンツァパートだけをソロ・ピアノ作品として独立して出版することにしたというユニークな出自を持つ小品。カップリングとなるラヴェルの名作「ピアノ協奏曲ト長調」とともにバックを務めるのはイギリスの俊英ライアン・ウィグルスワース指揮する名門BBC交響楽団。2021年に行われたセッション録音です。

Sony Music Japan International



好評発売中

定価 ¥3,300 (税抜価格 ¥3,000)
ハイブリッド・ディスク ● SICX10016
〈Multi-5ch〉STEREO / Multi-ch

Hi-Res
audio DSD2.8 & 192kHz/24bit
ハイレゾ配信